

茜草指	武良前野逝	標野行	野守者不見哉	君之袖布流
茜さす	紫野行き	標野行き	野守は見ずや	君が袖振る
あかねさす	むらさきのゆき	しめのゆき	のもりはみずや	きみがそでふる
あかね色の	紫の野を行き	しめ縄を張った野を行く	野の番人が見るではないか	そんなに袖を振ったら
				万葉集
				卷一 20
				額田王